

# 目 次

## 第1章 計画の基本的事項・・・・・・・・・・・・・・ 1

|     |               |   |
|-----|---------------|---|
| 第1節 | 計画の見直しについて    | 2 |
| 第2節 | 計画の位置づけ       | 3 |
| 第3節 | 計画の目的         | 4 |
| 第4節 | 計画の対象とする環境の範囲 | 4 |
| 第5節 | 計画の期間         | 5 |
| 第6節 | 計画の主体と役割      | 5 |
| 第7節 | 計画の構成         | 6 |

## 第2章 環境の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・ 8

|     |             |    |
|-----|-------------|----|
| 第1節 | えびの市の概況     | 9  |
| 1.  | 位置          | 9  |
| 2.  | 地質・土壌       | 9  |
| 3.  | 気候          | 9  |
| 4.  | 人口          | 11 |
| 5.  | 産業          | 13 |
| 6.  | 交通          | 18 |
| 第2節 | 環境の現状と課題    | 19 |
| 1.  | 地球環境        | 19 |
| 2.  | 自然環境        | 26 |
| 3.  | 生活環境        | 41 |
| 4.  | 循環型社会       | 52 |
| 5.  | 環境学習・環境保全活動 | 58 |

## 第3章 計画の目標・・・・・・・・・・・・・・ 59

|     |         |    |
|-----|---------|----|
| 第1節 | 基本理念    | 60 |
| 第2節 | 望ましい環境像 | 60 |
| 第3節 | 基本目標    | 61 |
| 第4節 | 施策の体系   | 62 |

## 第4章 施策の展開・・・・・・・・・・・・・・ 63

|     |                 |    |
|-----|-----------------|----|
| 第1節 | 地球環境            | 64 |
| 1.  | 二酸化炭素排出削減の推進    | 64 |
| 2.  | エネルギーの有効利用の促進   | 67 |
| 3.  | 二酸化炭素吸収源対策の推進   | 68 |
| 第2節 | 自然環境            | 69 |
| 1.  | 多様な生物を育む自然環境の保全 | 69 |

|                    |    |
|--------------------|----|
| 2. 生態系に配慮した農林業の推進  | 71 |
| 3. 野生動植物の保護と管理     | 73 |
| 第3節 生活環境           | 75 |
| 1. 快適空間の保全と創出      | 75 |
| 2. 歴史・文化的資源の確保と伝承  | 77 |
| 3. 大気環境の保全         | 78 |
| 4. 水環境の保全          | 79 |
| 5. 周辺環境に配慮した農林業の推進 | 82 |
| 第4節 循環型社会          | 84 |
| 1. 廃棄物の適正処理の推進     | 84 |
| 2. 排出抑制・再使用などの推進   | 86 |
| 第5節 保全活動           | 88 |
| 1. 環境学習の推進         | 88 |
| 2. 環境保全活動の推進       | 90 |

## 第5章 計画の推進 91

|                  |    |
|------------------|----|
| 第1節 計画の推進体制      | 92 |
| 第2節 計画の推進方法      | 93 |
| 1. 計画の推進管理       | 93 |
| 2. 情報公開          | 94 |
| 3. 協力と連携         | 94 |
| 第3節 計画の進行管理      | 95 |
| 1. 施策の進捗状況の点検・評価 | 95 |
| 2. 計画の達成状況の点検・評価 | 95 |
| 3. 年次報告          | 95 |
| 4. 成果指標          | 95 |

## 第 1 章 計画の基本的事項

第 1 章には、計画の基本的な位置づけや、対象とする環境の範囲、期間などについて記載しています。

1. 計画の見直しについて
2. 計画の位置づけ
3. 計画の目的
4. 計画の対象とする環境の範囲
5. 計画の期間
6. 計画の主体と役割
7. 計画の構成

## 第1節 計画の見直しについて

平成30年にえびの市環境基本計画が改定され、「第2次環境基本計画」として、望ましい環境像である「水と空気が美味しい安心して暮らせるまち」を目指して5年間「えびの市環境審議会」において施策や取り組みについての評価・検証を行ってきました。

当計画第1章第5節において「中間年度の令和4年度には、令和3年度までの進行状況と本市を取り巻く環境や社会状況の変化などを踏まえ、見直しを行うものとし、大幅な社会情勢の変化などが生じた場合には、必要に応じ随時見直しを行う」としているため、必要部分についての見直しを行います。

計画中間地点での見直しであることから、基本計画の骨子である望ましい環境像や基本目標等については変更せず、令和3年度の計画の進捗状況と評価、社会・経済等の変化を踏まえた部分的な見直しとします。

### 【えびの市環境基本条例（抜粋）】

#### （目的）

第1条 この条例は、環境の保全について、基本理念を定め、並びに市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

#### （環境基本計画）

第8条 市長は、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、えびの市環境基本計画（以下「環境基本計画」という。）を定めるものとする。

2 環境基本計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

（1）環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱

（2）前号に掲げるもののほか、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

## 第2節 計画の位置づけ

本計画は、えびの市環境基本条例第8条に基づき策定するもので、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画です。また、国・県の法律・条例及び関連計画並びに市の最上位計画である「第6次えびの市総合計画基本計画」をはじめ、その他の行政計画などの整合や連携を図りながら、環境施策を推進するものです。（図1-1参照）

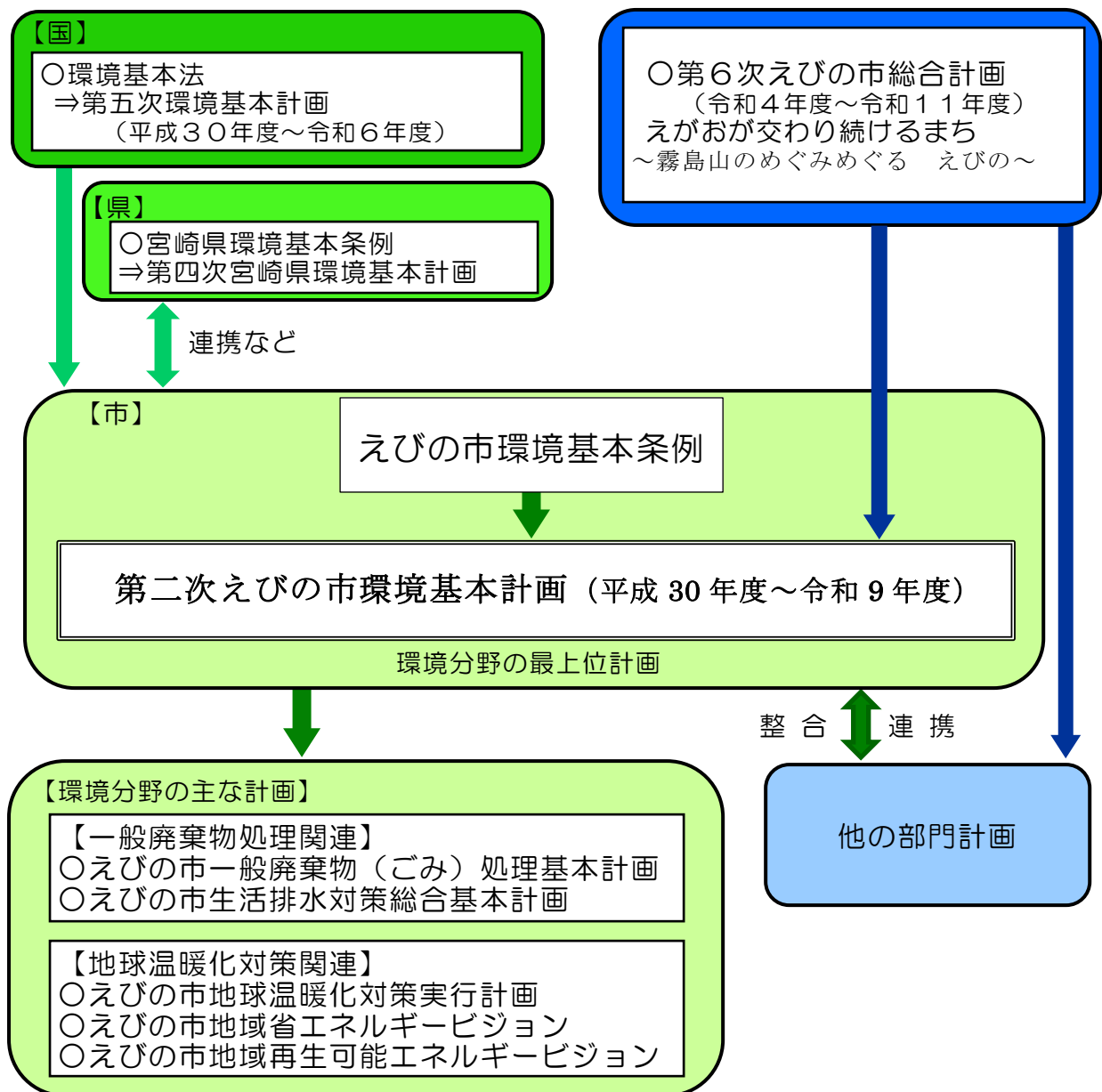


図1-1 本計画の位置づけ

環境基本法：平成5年に制定・施行された日本の環境政策の根幹を定める基本法。

地球温暖化：化石燃料の大量使用などにより大気中の温室効果ガスが増加し、大気や海洋の平均気温が上昇していく現象。

### 第3節 計画の目的

本計画は、環境保全に関する総合的な計画で、「えびの市環境基本条例」の理念を施策として展開するための具体的な取組を定めるものです。

環境保全の基本理念、望ましい環境像と基本目標、施策の具体的な取組を定め、市民・事業者・市が一体になり、総合的かつ計画的に推進するために、必要な事項を示します。

併せて、本市の施策の遂行にあたっての推進体制・推進方法・進行管理を明らかにするものです。

### 第4節 計画の対象とする環境の範囲

本計画の対象地域は本市全域としますが、取り組む環境要素の範囲は、広く地球温暖化などの地球規模の環境問題から身近な生活環境までの範囲を設定します。なお、環境要素は、地球環境・自然環境・生活環境・循環型社会の4つの分野に区分し、それに環境保全活動の分野を加えます。（図1－2参照）

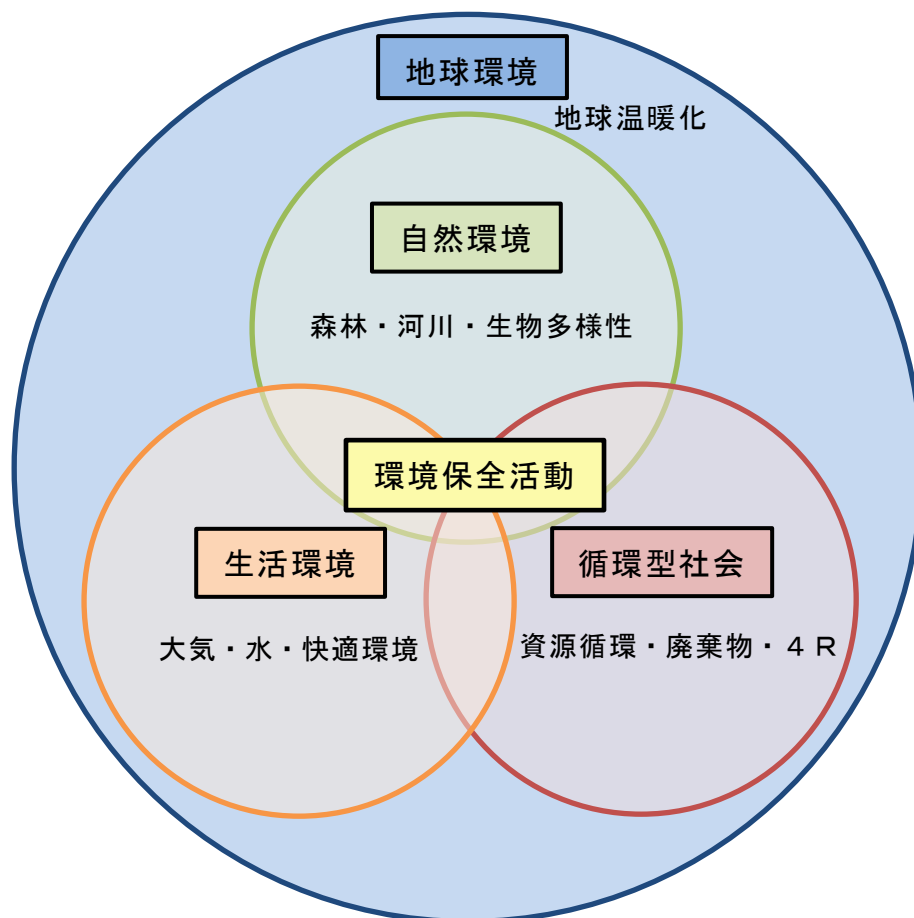


図1－2 環境区分及びその主要素

循環型社会：天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会。

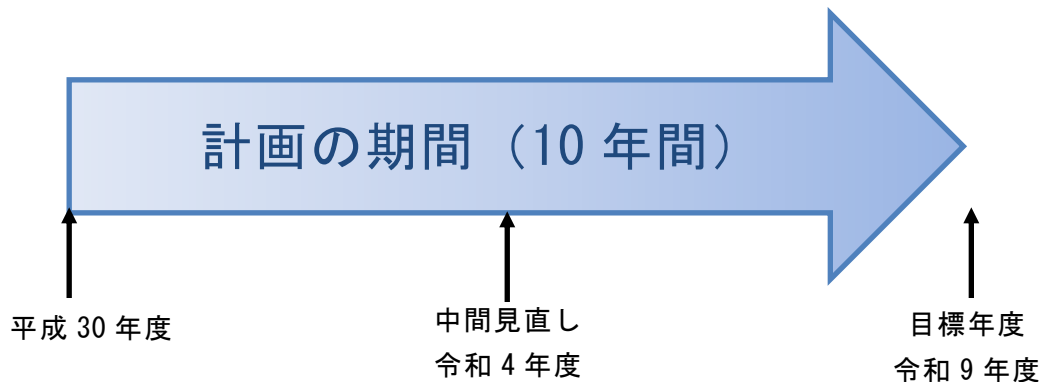
4R：リフューズ（Refuse）・リデュース（Reduce）・リユース（Reuse）・リサイクル（Recycle）の4つの総称。

廃棄物：「廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）」によって定義される廃棄物の種類。

## 第5節 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間とします。

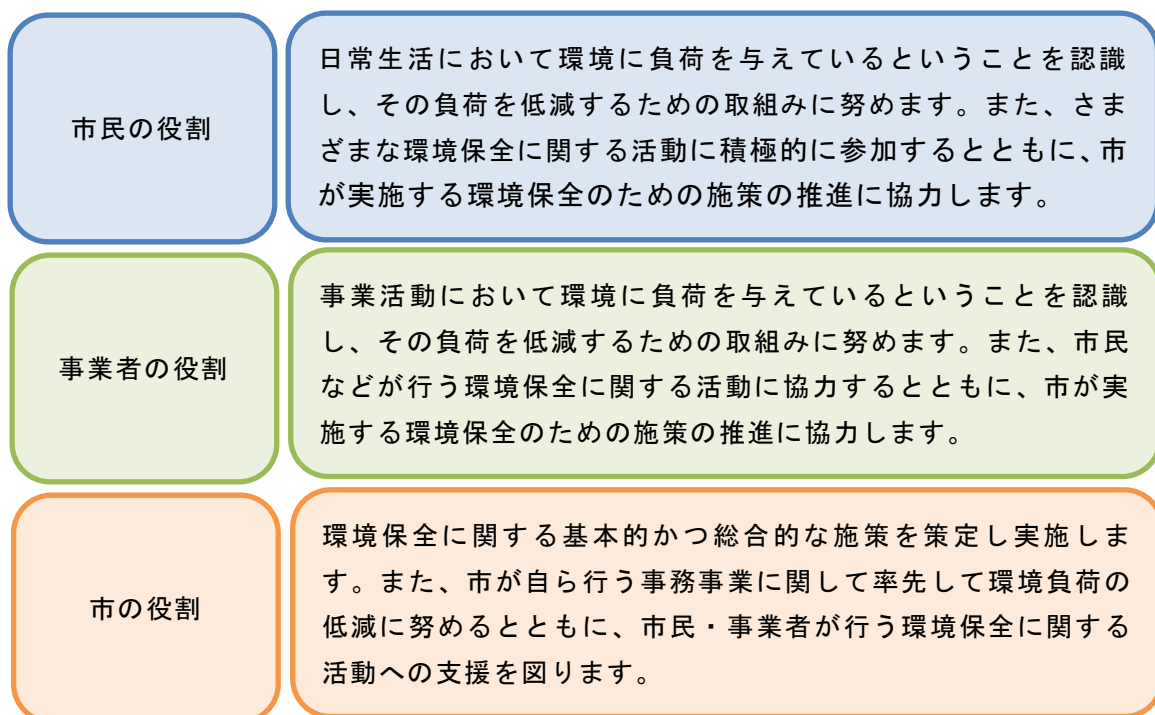
なお、中間年度の令和4年度には、令和3年度までの進行状況と本市を取り巻く環境や社会状況の変化などを踏まえ、見直しを行うものとし、大幅な社会情勢の変化などが生じた場合には、必要に応じ随時見直しを行います。



## 第6節 計画の主体と役割

本計画の対象となる主体は、市民・事業者・市の3者とします。

また、本計画を効果的に推進するため、各主体が互いに連携・協力し、それぞれの役割を果たすことが重要であることから、各主体の役割を次のとおりとします。



環境負荷：人が環境に与える負担のこと。

## 第7節 計画の構成

第二次えびの市環境基本計画の構成は、以下のとおりです。

### 環境基本計画の構成

#### 第1章 計画の基本的事項

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 第1節 計画の改定について | 第2節 計画の位置づけ       |
| 第3節 計画の目的     | 第4節 計画の対象とする環境の範囲 |
| 第5節 計画の期間     | 第6節 計画の主体と役割      |
| 第7節 計画の構成     |                   |



#### 第2章 環境の現状と課題

- |                |          |          |       |       |       |
|----------------|----------|----------|-------|-------|-------|
| 第1節 えびの市の概況    | 1. 位置    | 2. 地質・土壌 | 3. 気候 | 4. 人口 | 5. 産業 |
| 第2節 環境の現状と課題   |          |          |       |       |       |
| 1. 地球環境        | 2. 自然環境  |          |       |       |       |
| 3. 生活環境        | 4. 循環型社会 |          |       |       |       |
| 5. 環境学習・環境保全活動 |          |          |       |       |       |



#### 第3章 計画の目標

- |          |             |
|----------|-------------|
| 第1節 基本理念 | 第2節 望ましい環境像 |
| 第3節 基本目標 | 第4節 施策の体系   |



#### 第4章 施策の展開

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 第1節 地球環境           |                   |
| 1. 二酸化炭素排出削減の推進    | 2. エネルギーの有効利用の促進  |
| 3. 二酸化炭素吸収源対策の推進   |                   |
| 第2節 自然環境           |                   |
| 1. 多様な生物を育む自然環境の保全 | 2. 生態系に配慮した農林業の推進 |
| 3. 野生動植物の保護と管理     |                   |
| 第3節 生活環境           |                   |
| 1. 快適空間の保全と創出      | 2. 歴史・文化的資源の確保と伝承 |
| 3. 大気環境の保全         | 4. 水環境の保全         |
| 5. 周辺環境に配慮した農林業の推進 |                   |
| 第4節 循環型社会          |                   |
| 1. 廃棄物の適正処理の推進     | 2. 排出抑制・再使用などの推進  |
| 第5節 保全活動           |                   |
| 1. 環境学習の推進         | 2. 環境保全活動の推進      |



#### 第5章 計画の推進

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 第1節 計画の推進体制 | 第2節 計画の推進方法 |
| 第3節 計画の進行管理 |             |



## <環境基本計画の体系>

計画の基本的事項

環境の現状と課題

### <望ましい環境像>

水と空気が美味しい 安心して暮らせるまち えびの  
— 自然の宝庫を次世代に贈ろう —

### <5つの基本目標>

- 省エネと自然エネルギーを有効活用するまち
- 自然の宝庫を継承するまち
- 水と空気が美味しい安心して暮らせるまち
- ごみ問題がない循環型社会をめざすまち
- 共に学び、市民・事業者・市が一体となって環境保全活動に取り組むまち

### <施策の展開>

施策の推進方向及び具体的な取組  
市民・事業者の取組・成果指標

計画の推進